

# 令和6年度 高知県普通会計決算見込みについて（ポイント編）

## 1 歳入歳出決算額の状況

（単位 百万円、％）

○新型コロナウイルス対策や物価高騰対策などの国の交付金を活用した事業が減少したことなどにより、歳入・歳出ともに前年度を下回った。

○実質収支は、36億8百万円の黒字。

区分	R6年度	R5年度	増減額	増減率
歳入総額 A	477,698	483,885	△6,187	△1.3
歳出総額 B	467,386	473,555	△6,169	△1.3
形式収支 C (A-B)	10,312	10,330	△18	△0.2
繰り越すべき財源 D	6,704	7,606	△902	△11.9
実質収支 E (C-D)	3,608	2,724	884	32.5

### ① 歳入科目の主な減要因

**R5:4,838億85百万円 → R6:4,776億98百万円（△61億87百万円）**

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減などにより、**国庫支出金が前年度比で143億85百万円の減**となった。

### ② 歳出科目の主な減要因

**R5:4,735億55百万円 → R6:4,673億86百万円（△61億69百万円）**

○新型コロナウイルス感染症対策のための補助金の減などにより、**補助費等が前年度比で117億44百万円の減**となった。

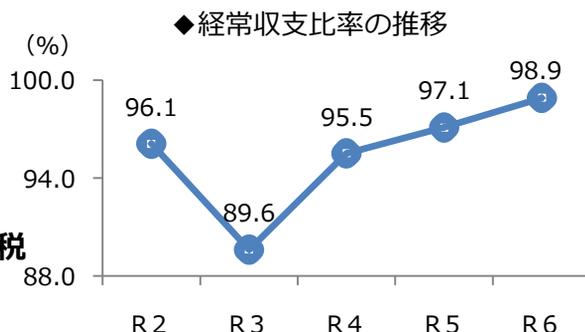
○退職手当基金の積立金の減などにより、**積立金が前年度比で5億45百万円の減**となった。

## 2 各財政指標の状況

○財政構造の弾力性を示す経常収支比率（※）は、前年度から1.8ポイント増加し、98.9%となった。

○県債残高は、臨時財政対策債の償還が進んだことなどにより、前年度から減少。

一方、臨時財政対策債を除く県債残高は、地方交付税措置率の高い地方債を活用し、防災・減災に資するインフラ整備を加速化した結果、前年度より増加。



（※）経常収支比率：経常経費充当一般財源等 / 経常一般財源等総額

### ① 経常収支比率

○人件費の増加などに伴い、算定の分子となる経常経費充当一般財源等が増となったことから、前年度から増加した。

### ② 県債残高

○県債残高総額

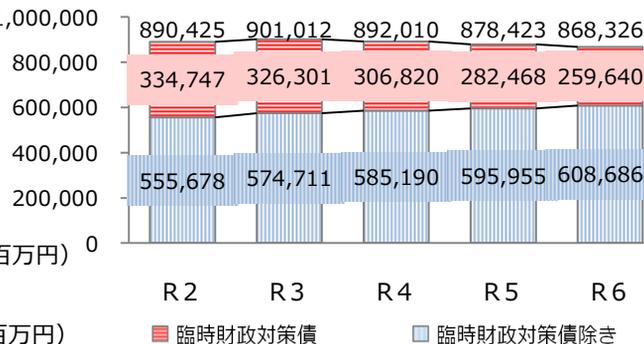
R5:8,784億23百万円 → R6:8,683億26百万円（△100億97百万円）

○臨時財政対策債を除く県債残高総額

R5:5,959億55百万円 → R6:6,086億86百万円（+127億31百万円）

（百万円）

### ◆ 県債残高の推移



## 3 将来に向けた基金の確保

○財政調整的基金は、減債基金の取崩し増などにより、前年度比で71百万円減少し、R6年度末残高は339億57百万円となった。

### ◆ 財政調整的基金残高の推移

